

平成 18 年度 医学部 教室業績集（追加）目次

[解剖学教室（I）](#) …… 2

[第一外科学教室](#) …… 4

[救急医学教室](#) …… 5

[臨床検査医学教室](#) …… 7

解剖学教室 (I)

平成 18 年度業績

I. 口演

1. Borke J.L.¹, Amano K, Miyake K¹ & McNeil P.L.¹ (¹Medical College of Georgia, Augusta, USA): Activation of Gene Expression by Toothbrushing-induced Cell Wounding. 85TH General Session & Exhibition of the IADR/AADR/CADR, New Orleans, Louisiana, Mar.21-24, 2007.
2. Borke J.L.¹, Amano K & McNeil P.L.¹ (¹Medical College of Georgia, Augusta, USA) : Activation of Gene Expression by Toothbrushing Induced Cell Wounding. IADR2007, New Orleans, 2007.3.25-27.
3. 森山浩志¹, 天野カオリ, 伊藤純治¹, 伊藤正裕², 松村讓児, 島田和幸³, 大塚成人¹ (¹昭和大・医・第2解剖, ²東京医科大・人体構造, ³鹿児島大院・医師学総研・神経病理学・歯科応用解剖学分野) : ヒト前庭神経の形態計測学的解析: 性差について. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 平成19年3月27-29日.
4. 松村讓児, 鈴木裕二, 天野カオリ, 白石尚基, 灰塚嘉典: 杏林大学医学部における遺体保存処置. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 平成19年3月27-29日.
5. 天野カオリ, 森山浩志¹, 白石尚基, 松村讓児 (¹昭和大・医・第2解剖) : ヒト胎児耳下腺管の形態学的研究: 頬筋貫通部における管壁周囲組織構造. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 平成19年3月27日.
6. 中田隆博¹, 松田正司², 松村讓児, 小林靖¹ (¹防衛医大・解剖, ²愛媛大院・医学研究・解剖発生分野) : ラット脊髄前角運動ニューロンにシナプスをつくるC終末の起始. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 平成19年3月27-29日.
7. 松村讓児: 杏林大学医学部におけるコメディカル解剖学実習. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 平成19年3月27-29日.
8. 白石尚基, 松村讓児: 解剖学実習における内視鏡機器を用いた実習導入の試み. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 平成19年3月27-29日.
9. 曾爾彊¹, 大谷修², 金澤英作³, 佐々木宏⁴, 正村静子⁵, 杉本哲夫⁶, 鳥越甲順⁷, 松村讓児, (¹名古屋市立大院・医研・生体機能・機能形態・制御形態, ²富山大・医・解剖, ³日本大松戸・歯・解剖, ⁴東京女子医大・医・解剖, ⁵岐阜大院・医研・解剖, ⁶関西医科大・解剖, ⁷東海大・医・解剖学) : 医学・歯学教育での人体解剖学実習の必要性. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 平成19年3月27-29日.

II. 論文

1. Shiraishi N: Levels of Formaldehyde, Phenol and Ethanol in Dissection Room Air and Measures for Reduction. JJOMT 54 : 1-10, 2006.
2. 白石尚基, 天野カオリ, 松村讓兒 : 距踵 (距骨下) 関節の形態分類. - 特に前・中距踵関節の形態について-. 形態科学 10 : 21-25, 2006.

III. 著書

1. 松村讓兒ほか : 新編,新しい科学2 分野 上. 三浦 登, 岡村定矩編. 東京, 東京書籍, 2006.
2. 松村讓兒ほか : 新編,新しい科学2 分野 下. 三浦 登, 岡村定矩編. 東京, 東京書籍, 2006.
3. 松村讓兒 (監修) : 病気がみえる 9 . 婦人科. 東京, メディックメディア, 2006.
4. 松村讓兒 : トートラ解剖学. 体性感覚 p655-674. 小沢一史, 千田隆夫, 高田邦昭監訳. 東京, 丸善, 2006
5. 松村讓兒 : 国試看護シリーズ イラストで見る診る看る人体の構造と機能. 東京, 医学評論社, 2007.
6. 松村讓兒 : イラスト解剖学 第5版. 東京, 中外医学社, 2007.
7. 松村讓兒, 坂井建雄 (監訳) : プロメテウス解剖学アトラス. 解剖学総論/運動器系. 東京, 医学書院, 2007.

IV. その他

1. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 骨とカルシウムのはなし. 看護学生54 : 2-4, 2006.
2. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 筋と腱のはなし. 看護学生 54 : 2-4, 2006.
3. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 心臓のはなし. 看護学生 54 : 2-4, 2006.
4. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 静脈系と薬のはなし. 看護学生 54:2-4, 2006.
5. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 空気を吸うのはなし. 看護学生54 : 2-4, 2006.
6. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 肝臓のはなし. 看護学生54 : 2-4, 2006.
7. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. オシッコの生成と尿検査のはなし. 看護学生 54 : 2-4, 2006.
8. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 生殖のはなし. 看護学生 54:2-4, 2006.
9. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 内分泌 ; 体内の情報伝達物質. 看護学生 54:2-4, 2006.
10. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 神経系って、どんなもの? . 看護学生 54:2-4, 2006.
11. 松村讓兒 : 人体のしくみと働きを学ぼう. 見えることの不思議. 看護学生 54:2-4, 2006.
12. 白石尚基 : 平成 18 年度厚生労働省研究費補助金 : 安全な取穴のための経穴周囲の臨床解剖教材の作成.
13. 片岡勝子¹, 松村讓兒 (¹ 広島大院・歯薬総研) : 平成 18 年度科学研究費補助金研究 : 新しい医学教育における解剖学教育に関する研究.

第一外科学教室

〔18 年度追加〕

I. 口演

- 1) Abe N, Suzuki Y, Sugiyama M, Atomi Y: Wrapping of skeletonized and divided vessels using the falciform ligament in distal pancreatectomy. First Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association, 2007 Fukuoka. Fukuoka, March 22.
- 2) 武井宏一, 松岡弘芳, 正木忠彦, 森俊幸, 杉山政則, 跡見裕: MR intestinography 術前診断による腹腔鏡下癒着剥離術. 第 44 回日本腹部救急医学会総会、横浜、平成 19 年 3 月 14 日・15 日.

救急医学教室

I . 口演

——— 平成 18 年度業績 (訂正)

1. 亀田進吾¹, 関谷繁樹¹, 野沢有二¹, 佐野浩志¹, 山田賢治, 吉澤貴弘², (¹ 赤心堂病院・整形外科, ² 亀田総合病院・整形外科) : 橈 骨頭単独脱臼の一例. 第 41 回埼玉手の外科研究会, さいたま, 平成 18 年 9 月 9 日.

II . 論文

——— 平成 18 年度業績追加

1. 吉澤貴弘¹, 山田賢治, 関谷繁樹¹, 中村名訓¹ (¹ 赤心堂病院・整形外科) : 有鉤骨に発生した孤立性骨嚢腫の 2 例. 臨床整形外科 41 (6) : 683-688, 2006.

III . 著書

——— 平成 18 年度業績追加

1. 関谷恭介, 山口芳裕, 島崎修次 : 末梢静脈路確保. 外科治療外科救急処置アトラス 94 (増刊) : 450-453, 2006.
2. 富田泰彦, 松田剛明, 山口芳裕, 島崎修次 : 救急医療と研修医指導の実際. 新医療 2006 年 4 月号 : 125-128, 2006.
3. 宮内洋, 山口芳裕, 島崎修次 : 病院前救急医療とメディカルコントロール (MC) 体制. 日本医師会雑誌 135 (特別号 1) : S38-S42, 2006.
4. 山口芳裕 : 代謝反応と栄養管理. 救急医学 30 (9) : 1097-1102, 2006.
5. 海田賢彦, 山口芳裕 : 鎖骨下静脈穿刺・カニューレーション. 救急医学 30 (10) : 1297-1303, 2006.
6. 後藤英昭, 山口芳裕, 島崎修次 : 当院熱傷センターにおける治療戦略. 日本救命医療学会雑誌 20 : 77-81, 2006.
7. 福島秀起, 山口芳裕 : 上腸間膜動脈血栓塞栓症. 日本医師会雑誌 135 (特別号 (1)) : S336-S337, 2006.
8. 井上孝隆, 山口芳裕 : 熱傷指数 (BI), 熱傷予後指数 (PBI). 救急医学 31 (3) : 347, 2007.
9. 宮内洋 : 排尿障害治療剤 臭化ジスチグミン (ウブレチド錠) 中毒の診断と治療—コリン作

動性クリーゼの対処法を中心に—。医薬の門 47(1): 58-65, 2007.

10. 吉澤貴弘¹, 山田賢治, 関谷繁樹¹, 中村明訓¹(¹ 赤心堂病院整形外科): 尺骨鉤状突起骨折を伴った肘関節粉碎骨折の1例。埼玉県医学会雑誌 41(5): 388-394, 2007.

IV. その他

——— 平成 18 年度業績追加

1. 山口芳裕(視察調査団メンバー): 財団法人救急振興財団 平成 18 年度海外救急事情調査報告書(欧州編)。(財団法人救急振興財団) p.51-54, 58-63. 2007 年 3 月.
2. 災害時における消防と医療の連携に関する検討会(島崎修次: 災害時における消防と医療の連携に関する検討会委員, 山口芳裕: 災害時における消防と医療の連携に関する検討会ワーキンググループメンバー): 災害時における消防と医療の連携に関する検討会報告書(中間とりまとめ)。(総務省消防庁) 2007 年 3 月.
3. 島崎修次(分担研究者): 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 脳死者の発生等に関する研究 平成 18 年度 総括研究報告書。(主任研究者有賀徹) 2007 年 3 月.
4. 島崎修次(分担研究者), 宮内洋, 山口芳裕(研究協力者): 厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業 小児救急のあり方に関する研究 平成 18 年度 総括研究報告書。(主任研究者衛藤義勝) 2007 年 3 月.

臨床検査医学

I. 口演

1. 宮城博幸, 牧野博, 吉澤美枝, 司茂幸英, 江上照夫, 渡邊卓 : LC/MS ライブラリーによる薬物スクリーニング分析の可能性. 第 55 回日本医学検査学会, 島根, 平成 18 年 5 月 19-20 日
2. 鈴木光一, 渡辺美津子, 高城靖志, 司茂幸英, 江上照夫, 渡邊卓 : 外来採血室のシステム化. 第 55 回日本医学検査学会, 島根, 平成 18 年 5 月 19-20 日
3. 司茂幸英 : 心電図波形の計測. 基礎から学ぶ生理機能検査講習会, 東京, 平成 18 年 6 月 18 日
4. 有賀俊之 : 弁膜症を知る(僧帽弁疾患). 超音波検査法フォーラム研修会, 東京, 平成 18 年 8 月 20 日
5. 大西宏明 : 採血におけるリスクマネジメントについて. 埼玉県臨床検査技師会主催学術講演会, 埼玉, 平成 18 年 9 月 15 日
6. 米山正芳, 原田喜代子, 江上照夫, 渡邊卓 : 全自動尿中有形成分分析装置オーション I Q-5210 と目視鏡検法との比較検討について. 日本臨床検査自動化学会, 兵庫, 平成 18 年 10 月 11-13 日
7. 加藤愛香, 青柳佳樹, 岡崎充宏, 和田裕雄, 石井晴之, 青島正大, 後藤元 : Streptococcus agalactiae による敗血症、心外膜炎、髄膜炎、脊椎炎、関節炎、筋肉内膿瘍の一例. 第 55 回日本感染症学会東日本地方会総会・第 53 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 東京, 平成 18 年 10 月 26-27 日
8. 皿谷健, 岡崎充宏, 青島正大, 後藤元 : 透析患者に生じた Enterobacter cloacae による敗血症性関節炎の一例. 第 55 回日本感染症学会東日本地方会総会・第 53 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 東京, 平成 18 年 10 月 26-27 日
9. 皿谷健, 岡崎充宏, 青島正大, 後藤元 : 人口弁置換術後の慢性維持透析患者に広範な心筋内膿瘍を合併した黄色ブドウ球菌性心内膜炎の一例. 第 55 回日本感染症学会東日本地方会総会・第 53 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 東京, 平成 18 年 10 月 26-27 日
10. 蟹由公子, 大西宏明, 吉野秀朗, 渡邊卓 : 急性冠症候群におけるフィブリノゲン複合体の動態の検討. 日本臨床検査医学学会, 青森, 平成 18 年 11 月 9-11 日
11. 宮城博幸, 梶原正弘, 司茂幸英, 江上照夫, 大西宏明, 山口芳裕, 渡邊卓 : LC/MS ライブラリーとライブラリー検索ソフトを活用した LC/MS による薬物スクリーニング法の検討. 第 53 回日本臨床検査医学会, 青森, 平成 18 年 11 月 9-11 日
12. 宮城博幸, 梶原正弘, 司茂幸英, 江上照夫, 大西宏明, 山口芳裕, 渡邊卓 : "臨床検査の未来を切り開く新しい検査 質量分析装置を用いた血中・尿中物質の新たな検出法"~薬毒物検査を中心として~. 第 53 回日本臨床検査医学会, 青森, 平成 18 年 11 月 9-11 日
13. 大西宏明、大塚弘毅、岸野智則、松島早月、呉屋朝幸、渡邊卓 : 変異特異的 PCR 法を用いた EGF R 遺伝子変異の簡便かつ高感度な検出法の検討.
14. 日本臨床検査医学会、弘前、平成 18 年 11 月 10 日
15. Okazaki M, Wada H, Ohnishi H, Aoshima M, Goto H, Watanabe T : Prevention of an outbreak of Burkholderia cepacia contaminations via ultrasonic nebulizer, The 11 Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, Kyoto, Japan, 2006. 11. 19-22
16. 米山正芳 : 尿沈渣検査の再検ロジックを考える. 大阪府臨床検査技師会一般検査部門定期講習

会,大阪,平成 18 年 11 月 25 日

17. 浦田毅, 鳥森直子, 水谷奈津子, 伊東大樹, 松田実 : 乳腺腺筋上皮腫の一例・超音波像の検討を中心に. 第 16 回日本乳癌画像研究会, 東京, 平成 19 年 2 月 11 日
18. 岡崎充宏, 大楠清文, 波多宏幸, 山元正之, 檜垣学, 和田裕雄, 松島早月, 大西宏明, 後藤元, 江崎孝行, 渡邊卓 : 肺炎患者の喀痰から検出された *Mycobacterium* 属の新菌種について. 第 18 回日本臨床微生物学会総会, 長崎, 平成 19 年 2 月 17-18 日
19. 岡崎充宏, 福川陽子, 米谷正太, 澤田範子, 荒木光二, 宿谷菜穂子, 司茂幸英, 江上照夫, 大西宏明, 渡邊卓 : コバス TaqMan MTB のアンプリコアとの比較検討. 第 18 回日本臨床微生物学会総会, 長崎, 平成 19 年 2 月 17-18 日
20. 福川陽子, 岡崎充宏, 米谷正太, 澤田範子, 荒木光二, 宿谷菜穂子, 司茂幸英, 江上照夫, 大西宏明, 渡邊卓 : 当院における尿由来の levofloxacin 耐性大腸菌の動向およびその危険因子. 第 18 回日本臨床微生物学会総会, 長崎, 平成 19 年 2 月 17-18 日
21. 澤田範子, 福川陽子, 米谷正太, 松浦智朗, 沼澤華世, 宿谷菜穂子, 荒木光二, 岡崎充宏, 司茂幸英, 江上照夫, 田村孝志, 大西宏明, 渡邊卓 : 肺炎球菌用薬剤感受性試験における市販パネルの比較検討. 第 18 回日本臨床微生物学会総会, 長崎, 平成 19 年 2 月 17-18 日
22. 米山正芳 : 尿沈渣検査鏡検に役立つ情報. 腎泌尿器検査研究会第 3 回学術集会, 東京, 平成 19 年 3 月 24 日

II. 論文

1. Kishino T, Haradome H, Mori H, Takahashi S, Ishida H, Watanabe T: Choledochocoele demonstrated on conventional Sonography. **J Clin Ultrasound** 34:199-202, 2006
2. Kachi S, Okazaki M, Takeda H, Igarashi H, Kobayashi O, Watanabe H, Nakata K, Kawai S, Aoshima M, Watanabe T, Goto H : Outbreak of *Nocardia farcinica* infection with the same pattern in randomly amplified polymorphic DNA analysis. **J Hosp Infect** 62:502-506, 2006
3. Ohnishi H, Ohtsuka K, Ooide A, Matsushima S, Goya T, Watanabe T: A simple and sensitive method for detecting major mutations within the tyrosine kinase domain of the epidermal growth factor receptor gene in non-small-cell lung carcinoma. **Diagn Mol Pathol** 15:101-108, 2006
4. Yamaguchi Y, Watanabe T, Hirakata A, Hida T: Localization and ontogeny of aquaporin-1 and -4 expression in iris and ciliary epithelial cells in rats. **Cell Tissue Res** 325: 101-109, 2006
5. Ohnishi H, Kandabashi K, Maeda Y, Kawamura M, Watanabe T: Chronic eosinophilic leukaemia with FIP1L1-PDFRA fusion and T674I mutation that evolved from Langerhans cell histiocytosis with eosinophilia after chemotherapy. **Br J Haematol** 134:544-549, 2006
6. Ohtsuka K, Ohnishi H, Furuyashiki G, Nogami H, Koshiishi Y, Ooide A, Matsushima S, Watanabe T, Goya T: Clinico-pathological and biological significance of tyrosine kinase domain gene mutations and overexpression of epidermal growth factor receptor for lung adenocarcinoma. **J Thorac Oncol** 1:787-795, 2006
7. Ohtsuka K, Ohnishi H, Fujiwara M, Kishino T, Matsushima S, Furuyashiki G, Takei H, Koshiishi Y, Goya T, Watanabe T: Abnormalities of epidermal growth factor receptor in lung squamous-cell carcinomas, adenosquamous carcinomas, and large-cell carcinomas. **Cancer** 109:741-750, 2007

8. Ito T, Kijima M, Watanabe T, Sakuta M, Nishiyama K. Ultrasonography of the tibial nerve in vasculitic neuropathy. *Muscle Nerve* 35:379-382, 2007
9. 渡邊卓: G L M教育セミナー 大学病院検査部長の立場から. *Lab CP* 24: 45-47, 2006
10. 渡邊卓: 標準採血法ガイドライン策定の意義と看護職員指導におけるポイント. *HANDS-ON* 2: 40-43, 2007
11. 大西宏明: 採血技術. *検査と技術* 34:729-734, 2006
12. 大西宏明: 溶血性貧血. *小児科臨床* 59:1723-1733, 2006
13. 大西宏明: 標準採血法ガイドライン. *検査と技術* 35:67-69, 2007
14. 大西宏明: 採血に伴う神経損傷回避への取り組み. *臨床病理* 55:251-256, 2007

Ⅲ. 著書

1. 大西宏明 (分担執筆) : プラスミノゲン、 α_2 プラスミンインヒビター (α_2 PI、アンチプラスミン)、 α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PIC). *小児臨床検査ガイド*. 五十嵐隆、水口雅 編. 東京, 文光堂, 2006. pp104-106.

Ⅳ. その他

1. 大西宏明: 癌の特異的分子治療の効果に影響を及ぼす遺伝子異常の検出および臨床応用可能な簡便な検査法の開発. 公益信託臨床検査医学研究振興基金 平成 17 年度研究奨励金 報告書.
2. 有賀俊之, 実技指導, 超音波検査法フォーラム実技講習会, 東京, 平成 18 年 6 月 4 日
3. 蟹由公子, 実技指導, 末梢血実技講習会, 東京, 平成 18 年 6 月 18 日
4. 森田恵子, 実技指導, 東京都臨床検査技師会「基礎から学ぶ生理機能検査講習会」呼吸機能検査実技, 東京, 平成 18 年 6 月 18 日
5. 司茂幸英, 試験委員, 緊急臨床検査士資格認定試験, 東京, 平成 18 年 7 月 16 日
6. 有賀俊之, 実技指導, 東京都臨床検査技師会実技講習会, 東京, 平成 18 年 9 月 10 日
7. 蟹由公子, 実務委員, 関東甲信越血液検査研修会, 山梨, 平成 18 年 10 月 8 日
8. 蟹由公子, 実技指導, 東京都臨床検査技師会 血液研修会「骨髓像実技講習会」, 東京, 平成 18 年 10 月 22 日
9. 米山正芳, 実技指導, 東京都臨床検査技師会一般研究班尿沈渣実技講習会, 東京, 平成 19 年 2 月 4 日
10. 有賀俊之, 実技指導, 超音波実技講習会, 東京, 平成 19 年 3 月 12 日